

特別史跡名古屋城跡に関する市長コメント（3月27日）

特別史跡名古屋城跡内における外構工事に伴う遺構き損の重大案件に関し、昨日、文化庁へ中間報告を行い、本市が考える再発防止策について、ご助言をいただきました。いただいたご助言を踏まえ、地元有識者からもご意見をいただきながら、更に強化した再発防止策を取りまとめてまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

つきましては、今年度、最後となる特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議を3月31日（火）に開催し、文化庁からのご助言を踏まえた、き損事故に対する再発防止策を議題として諮ってまいります。

また、き損事故に対する再発防止策に加え、「新たな工程の素案」についても議題として諮ってまいりたいと考えております。

「新たな工程の素案」については、天守閣木造復元事業が実現可能な、手順、工程であるかについて、本市の考え方に誤りがないかどうか、ご意見をいただきたいと考えており、竣工時期を確定させるものではありません。

しかしながら、木造復元事業を進めて行くために、新たな工程を確定させることは、非常に重要なことだと考えておりますので、まずは、き損事故への対応に最優先で取り組み、その上で、文化庁、地元有識者からご意見をいただきながら、さらに検討を重ねてまいりたいと考えております。

市民の皆さまには、この度の遺構き損の重大事案を含め、木造天守閣の竣工に関し、ご心配をおかけしており、市長である私も忸怩たる思いではありますが、一つ一つ課題を確実にクリアし、少しでも早く木造天守閣を皆さまにお届けできるよう、職員と一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。